



自然を生かした地域振興の道を考えてみましょう

4月に着任してから、具体的な仕事はまだ何も始まっていない状況です。まずは羅臼の現状を学び、進むべき道を探していくつもりです。私の得意分野である‘自然’を生かした地域振興について現時点で考えられる道筋をまとめてみました。

羅臼の野生動物は世界に通用する強み

シャチや大型クジラ類、流氷とオオワシ、シマフクロウ、ヒグマは世界中の自然愛好家や写真家の憧れであり、その人々にとってアクセスの不便さは全く問題になりません。アジア、オセアニア地区からカナダ、アラスカに向かう旅行者にとって羅臼と道東地区は、アクセスが良く費用的にも安い、かなり魅力のある旅行先です。こうした外国人旅行者をターゲットとした情報周知と受け入れ態勢の充実が地域振興の大きな柱になります。また、現状では天候に左右されやすい海からの動物観察が主流であり、悪天候にも対応できる陸地からの動物観察のプログラムを充実させる事が急務となっています。

外国人対応は外国語対応だけではない

欧米やアフリカの富裕層を中心に、世界中の野生動物を観察撮影しながらゆっくりと旅行するというスタイルが定着しています。アフリカ、中南米、南極などを旅行した方々が、少ない情報を頼りに羅臼にやって来るという形が段々と増えて来ました。こうした方々にとっては英語表示や英語パンフレットも必要であるが、最も必要なのは英語で日本の自然を解説できる自然ガイドや撮影ガイドです。各地でバラバラにガイドを依頼するのではなく、信頼できる1人のガイドが全行程の面倒を見るという形がより好まれます。アジアの旅行者にとっても、自然の見方やマナー、動物写真の撮影方法などを学ぶことのできる自然ガイドはとても大切です。

旅行者は無限にいる訳でない

大手の旅行会社は、ある時、大量のお客さんを送り込み、人気が無くなると別の地域に送客先を切り替えます。お客さんは無限にいる訳でなく、リピーターを作る努力をしない限り、やがては飽きられてしまいます。ガイドが自然や野生動物について深く掘り下げて解説することで、お客さんは感動と学んだ体験を持ち帰り、別の時期にまた訪れ、より深く自然を知りたいと思うようになります。短期的な集客のみに目を奪われる事なく、どうやってリピーターを生み出すかを一番大切に考える必要があります。そのためにも、質の高い自然ガイドを羅臼で養成して増やしていくことが重要になります。

自然を守り国立公園の価値を高めること

自然と野生動物を永続的に守る為には、地元の理解と協力が不可欠です。自然保護先進地域であるアフリカや中南米で、保護に係わる人々が共通に語るの「社会教育と経済に結び付かない自然保護は無い。」という言葉です。生態をできるだけ歪めることなく動物を見せる仕組みを考え抜いて実行すること、そのことが、対象動物とその生息環境に対する理解を深め、保護や個体数復元に大きな役割を果たします。出会うことさえ難しい野生動物の生態を目の当たりにする体験は、人々の自然への関心を増し、国立公園の存在価値を高めることとなります。

動物を見せることは保護と対立することではありません。知っていただくことから自然保護が始まります。外国先進地域の数々の事例を学べば、動物本来の生態を大きく変えず、動物本来の生態を引き出す様々な見せ方が分かるようになります。

羅臼の地域振興のためには、先進地域の事例を積極的に学び、様々な見方や意見を議論できる場を作ることがとても大切です。



外資系旅行会社の進出

外国人に人気の高い観光地には、大きな外国資本が入り込んで利益を独占するという事例が見られます。長野県地獄谷野猿公園は「温泉に入るサル」で世界中に有名になり、入園者は現在、年間25万人で毎年急激に増加しています。資本金5500万円程度のシンガポールの旅行会社が、野猿公園入口に2年前にカフェを開業今年3月からは第二種登録の旅行会社とギフトショップが開店し、近隣温泉旅館の買収も狙っています。アジア圏の旅行者に対して野猿公園を中心にしたパッケージツアーを販売しており、近隣旅館の買収が出来れば、地元は一切お金の下りないビジネスモデルが完成してしまいます。この状況は、羅臼でも十分起こり得ることであり、危機感を共有し外国資本の流入に備える事が大切です。

観光協会の1つの方向性

外部の旅行会社に利益を独占されないように、地元で観光船や観光メニュー、宿泊を1つのパッケージ商品として出発地に売り込み、羅臼にお金が入る仕組みを作ることが大切になるでしょう。そのために、知床羅臼町観光協会が旅行業の資格を取り、新たな機能をそなえるという方法があります。また、安定して利益をあげる仕組みを作ること、地元出身の自然ガイドを育成することができます。英語対応のできる優れたガイド集団は、羅臼の価値を大いに高めることになり、遠方からのリピーターを増やします。

アラスカやアフリカでは、自然を見せる仕事が大きな産業へと育っています。人間との適切な関係を保ちながら動物を見せる方法を研究することで、羅臼でも自然を見せる文化と産業が育ち、大きく成長して行くことになるでしょう。